

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		
	②	職員の配置数は適切であるか	7		・配置基準をみたしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	・構造化やバリアフリー化はなされている。パーティションの高さや、設置の仕方等今後も改善したい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		・日々掃除機掛け・次亜塩素酸ナトリウムでの拭き掃除を行っている。子どもが分かりやすい様に活動に合わせた場所の工夫を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	児童発達支援の事業に勤務の都合上参加出来ない職員（非常勤）がいた。今後情報共有に努めたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	児童発達支援の事業に勤務の都合上参加出来ない職員（非常勤）がいた。今後情報共有に努めたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	児童発達支援の事業に勤務の都合上参加出来ない職員（非常勤）がいた。今後情報共有に努めたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	・第三者による外部評価は行われていない。 ・外部講師による勉強会・研修から学習して改善の努力をしている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・障害特性研修は外部の講師を招いて実施し、時短職員を含め研修の機会を設けている。

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		・子どもと保護者のニーズや課題を支援計画の作成に生かしている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	・標準化されたアセスメントツールは使用していないが、日々のアセスメントを通し利用者の状況把握に努め療育活動へ活かしている。 ・外部講師によるケース検討会を行いアセスメントの勉強をすすめている。今後さらに標準化されたアセスメントツールの研修をしながら導入していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		・子どもの支援、家族の支援については、相談支援事業所や発達支援センター等と連携しつつ支援を実施した。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・支援計画に沿った支援をおこなっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・担当職員が立案チームで内容の検討をしている
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7		・日々の活動に季節の行事等も取り入る等工夫をしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		・個別活動と集団活動の比重は子どもの状況に応じて変えており支援計画に盛り込んでいる。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・送迎や出勤時間の都合上、できない日もあるが、日案に支援のポイントを分かりやすく明記して伝わるよう工夫している。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・支援の終了後時間を取り、支援内容や気付いた点、保護者とのやり取り等の振り返りを行い次の支援に繋げている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・記録は振り返りの時や、分担して積み残しのないようにしている。
	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・定期的なモニタリング及び必要に応じて家族からのモニタリングを行っている。

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわし者が参画しているか	7		・児童発達管理責任者と担当職員が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・サービス担当者会議等において子どもに係る関係機関や地区保健師等との連携を図っている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	6	・対象児がない。 ・今まで対象となる利用者が不在。受け入れの際は、連携して情報共有ができる体制を整えたい。 ・放デイと同様。必要に対応したい。準備はしている。 ・現在はいいえだが、今後あればしっかり行っていきたい。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	6	・対象児がない。 ・今まで対象となる利用者が不在。受け入れの際は、連携して情報共有ができる体制を整えたい。 ・放デイと同様。必要に対応したい。準備はしている。 ・現在はいいえだが、今後あればしっかり行っていきたい。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	5	・対象児がない。 ・今まで対象となる利用者が不在。受け入れの際は、連携して情報共有ができる体制を整えたい。 ・情報共有は全員ではないが、している子もいる。移行支援は今のところまだありませんが、必要に応じてやっていきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（商学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		7	・対象児がない。 ・今まで対象となる利用者が不在。受け入れの際は、連携して情報共有ができる体制を整えたい。 ・要請や必要があれば対応したい。 ・今のところいません。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		
	㉘	児童センターや保育所、認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	・児童センターの行事の参加や自由来館での利用等で交流がある。 ・近くの公園や県立図書館等へ遊びに行き、そこで交流することがある。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	6	・参加していないが、今後参加を検討していきたい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・日々の支援の中で捉えた得意や苦手や支援の工夫を家族に伝え家での過ごし方の情報を得るようにしている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	・日々の支援内容は送迎時に丁寧に伝えている。また相談等があった場合には検討し伝えているが、ペアレントトレーニングは今後の課題である。

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・見学時や契約時に丁寧にしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		・保護者からの意見を取り入れて児童発達支援計画を作成し丁寧に説明を行い、保護者からの同意をえている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・定期的な面談を実施し、家族の相談や情報を共有している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・一部の保護者ではあったが、親子参加の芋煮会を開催し、保護者同士の情報交換や連携の機会を持つことが出来た。今後は、保護者会の内容・時期等を検討し参加者を増やしていきたい。
	36	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・相談やクレームの申し入れは窓口を掲示し、迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・事業所の通信を毎月発行し、活動の様子や行事予定等を伝達している。また、法人の会報でも保護者への情報発信を行っている。
	38	個人情報に十分注意しているか	7		・職員に対しては研修を実施し周知している。契約時に個人情報保護の説明を行い配慮等の承諾を得ている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	・バザーを企画し、地域の児童センター・市民センター・商店等で事業所の広報活動を行った。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	・職員間ではマニュアルの共有・訓練をしている。・発生を想定した訓練はやってきたが、保護者へのマニュアルの周知は十分でなかった。今後はマニュアルの再確認と計画的な訓練実施と報告を行ってきたい。
	42	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子ども状況を確認しているか	7		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	5	2	・対象児があった場合対応したいが、対象児がない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	・事故につながると思われる件はヒヤリハットとして記録し、職員会議で共有したが、日々の療育で気を付ける事等は、日々の記録と口頭になっていることが多い。きちんとヒヤリハットとして残すようにしていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・法人の全体会で虐待防止の研修を年度最初におこなっている。

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達計画に記載しているか	7		・契約の時に丁寧に説明し、保護者の理解と同意を得たうえで支援計画に記載している。